

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

朝日印刷株式会社（証券コード: 3951）

【据置】

長期発行体格付	BBB+
格付の見通し	安定的
債券格付	BBB+

■格付事由

- 医薬品および化粧品向け印刷包材の製造・販売大手。包装機械や包装ラインの企画・仕入・販売も手掛け、印刷包材と連携したトータル提案を行っている。主力の医薬品向けでは専門性・信頼性が重視されることから参入障壁が高く、最大手である当社の競争優位性は高い。国内では富山並びに京都に製造拠点を有するほか、19年にマレーシアの印刷会社2社を買収したことで海外進出を果たしている。
- 収益力は安定している。人件費や材料費など各種コストアップや添付文書の同梱廃止など厳しい事業環境下ではあるが、当社の高い業界プレゼンスに変化はみられない。医療用医薬品向け製品の需要は堅調であるほか、人流回復に伴い OTC 医薬品や化粧品向けの受注も回復基調にある。また、在庫低減や内製化によるコスト削減の取り組みも奏功しており、今後も一定の収益力を維持できると JCR は判断している。財務構成は良好な水準にある。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- 24/3 期の営業利益は 22 億円と、前期比ほぼ横ばいが計画されている。高採算の添付文書の減収や白板紙など諸資材の値上げ継続が利益の圧迫要因となるが、OTC 医薬品や化粧品向け包材の販売数量の回復が全体利益を下支えする。また、医薬品包材の受注増加などを背景にマレーシア事業が成長軌道に乗りつつある。中期的に利益水準を高めていくためには、コストアップに対する価格転嫁の完遂、生産性の更なる向上、海外事業の推進などの取り組みが重要と考える。引き続き、中計で掲げる事業戦略の進捗に注目していく。
- 24/3 期第 1 四半期末の自己資本比率は 49.8%（前期末 49.9%）。京都クリエイティブパーク西棟などの大型投資が一巡した 22/3 期以降、ネット有利子負債は減少傾向にある。24/3 期以降は通常の維持更新投資に加え、生産性改善に向けた投資などが計画されている。ただし、投資金額は減価償却費並みの水準に留まる見通しで、今後も健全な財務状況が維持されると JCR はみている。

（担当）本西 明久・村松 直樹

■格付対象

発行体：朝日印刷株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 1 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	35 億円	2022 年 2 月 3 日	2027 年 2 月 3 日	0.430%	BBB+

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年9月27日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：本西 明久
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 朝日印刷株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいで行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル